

(様式)

愛知県子ども会活動事例応募用紙

市町村名	刈谷市	子ども会名	<input checked="" type="checkbox"/> 単子 <input type="checkbox"/> 校区 (☑点を記入してください) 松栄3・4・馬池組 子ども会	
事業名	防災教育&AED心肺蘇生法講習			
活動項目	<input type="checkbox"/> 地域との交流 <input type="checkbox"/> スポーツ活動 <input checked="" type="checkbox"/> 仲間づくり・技術習得 <input type="checkbox"/> 遊び体験 <input type="checkbox"/> 自然体験 <input type="checkbox"/> 異年齢交流 (主な該当項目1つに☑点を記入してください)			
活動の内容 ・事業の目的 ・プログラムの内容	<ul style="list-style-type: none">・“いつかではなくいつでも起こり得る防災”に対して、親子で意識を高めていただくために、赤十字奉仕団の方をお招きして防災教育&AED心肺蘇生法講習を開催した。・防災教育では、過去にどんな災害や事故があって、どうすればいいか、どう対応すればよいかを防災すごろくゲームを通じて楽しみながら学び、どのテーブルも盛り上がっていた。・AED心肺蘇生法講習では、AEDは見たことがあっても実際に触ったこともなく、心肺蘇生法もやったことがない親子がほとんどだったので、教えてもらいながら体験した。・また事故や怪我をした人に対して、医師や救急隊に引き継ぐまでに身近な物でできる応急手当も体験しながら学んだ。			
日時	2024年11月17日(日) 時間9時30分~11時30分	場所	野田市民館	
予算	0円	参加人数	子ども 9名 大人 7名 スタッフ役員 5名	
実施してよかったこと、楽しいと感じたこと、また、困った点等をどのように工夫したか等	<ul style="list-style-type: none">・昨年に続いて2回目の開催だったが、昨年よりも倍の人数の参加者でどの親子も赤十字の方へ積極的に質問していた。・親子で参加していただいたこともあり、どんな災害が起こり、どうするとよいか話し合うきっかけになり共通の話題作りができた。・防災やAED心肺蘇生法についてただ話を聴くのではなく、実際に楽しみ体験しながら行うことで他人事ではなく自分事として記憶に残る講習だった。・昨年参加した親子も、「忘れていた部分もあったから参加して良かった」とお声をいただいた。防災意識の輪が少しずつ広がればいいなと思った。			
子どもたちの成長ぶりや心の変化(感想)等	<ul style="list-style-type: none">・学校や家の周り、よく行くお店など、地域にはどこにAEDが設置しているのだろうと、親子で話し合ったり探したりしたとお声をいただいた。・もしものときに、子ども達がAEDの使い方がわからなくても「ぼく、大人の人を呼んでくる」「じゃあ、AED持ってくる」といった子ども同士の会話があり、子ども達が“自分にできることは何か”を考えるきっかけになった。			
HP掲載承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)	HP掲載承諾 <input checked="" type="checkbox"/> 済 (㍷点の記載必須)			
				

※写真に写っている方全員に肖像権の承諾を取った上で㍷点を入れてください。承諾の取れた写真のみ貼り付けしてください